

東洋英和女学院大学大学院

2008年度後期入学試験

問 題

人間科学研究科 修士課程

人間科学領域
社会・社会福祉学

専門分野

修士課程 社会・社会福祉学関連分野 (専門問題)

I

次の資料は、朝日新聞の2008年6月10日付の記事である。これを読んで、示されたデータをいくつか参照しながら、現代の社会における問題を、社会学あるいは社会福祉学的見地から論じなさい。(1200字以内)

「がらせ」と「労働条件の引き下げ」が
いずれも12・5%だった。
就労状況別では、正社員が関係する
相談が48%、パート・アルバイトが17
・2%。派遣・契約社員は13・8%
で、前年度比16・1%増と大きく伸び
た。厚労省は「非正規社員に対する嫌
がらせが増えているようだ」という。
個別労働紛争解決制度は、労働者や
企業側から寄せられた相談に対し、労
働局が情報提供や助言・指導、あっせ
んなどを行う。裁判よりも迅速な解決
を図る目的で、01年に設けられた。

労働者と企業側とのトラブル解決の
ため、都道府県労働局が行う「個別労
働紛争解決制度」の07年度の相談件数
は過去最多の約19万8千件に上り、特
にいじめ・嫌がらせに関する相談は、
前年度比27・6%増の約2万8千件だ
った。厚生労働省のまとめでわかっ
た。「社内のコミュニケーションが希
薄になり、相談できる上司や同僚が減
っていることが要因ではないか」と厚
労省はみている。
相談内容で最も多かったのが「解
雇」で22・8%。次いで「いじめ・嫌

II

下記の2問から1問を選び、自分の専門領域・関心のある分野との関連で、500字から600字程度で、自分の考えを自由に論ぜよ。

問1 今、注目されている後期高齢者医療制度について、年齢・所得などの違いを踏まえ、制度のメリット・デメリットを整理し、財源論なども含めて、これからの高齢者医療の在り方について論ぜよ。

問2 2006年の介護保険法改正で登場した予防給付など、高齢になっても介護を受けずにすむよう健康を維持する「介護予防」の考え方が関心を集めている。介護保険制度の具体的な改正内容について概説し、高齢者福祉に与えた影響について論ぜよ。